

バスティン研究会 in 東京 月例講座 報告

(2011年11月分、毎月第1木曜日 10:00~12:00 開講)

♪ベーシックス・ピアノレベル3の講座報告と、参加者アンケートから出たQ&Aです。

冒頭に、10月18日に開催されたバスティン先生来日講座のお話がありました。このレベル3の講座に参加している先生の中にもたくさんの参加があったようです。

2011年11月10日 「ベーシックス レベル3」 講師：小西 裕美子
伴奏が変わると音楽も変わる
いろいろな伴奏形、マイナー、グラーフ3の調を学びます。

(受講者 30名)

- * p4 「サタデーナイトブギ」では、まず生徒に「この楽譜の中で知っていることは？」と聞いてみると、生徒が楽譜の中で知っていることをいくつか答えられるか指導者が把握することができ、それだけでも自信につながり、また新しいことを学んでいく意欲も増すと思いました。ブギバスの練習の紹介；先生がメロディーを弾き、生徒が伴奏を弾く方法…曲の雰囲気はわかって良いと思いました。



- * 生徒を音楽的な演奏ができるように導くためにバスティン先生は…メロディーの方向性・左右のバランス・フレージング・声部の弾き分けをはじめからできるように心がけているそうです。
- * p6 平行調の短音階はただ弾くだけでなく、何短音階かなのかを耳で聴き分けることも大事です。「ラクダのキャラバン」では、それまでに出てきたブギバス・マイナー・和声的短音階に加え、ダウンアップの奏法を学ぶ曲になっています。音階の部分では方向性に注意させます。生徒の隣で指導者はその曲に合った雰囲気をかもし出すのも重要な役割だと思いました。
- * p10 長三和音と短三和音では和音を弾きながら生徒にもD-Dm-Dと言わせながら弾きます。
- * p12 マイナーのコードネームが小文字になっていることや、V7はメジャーもマイナーも同じであることに気付かせます。また、指番号に○が付いているところは指使いに気をつける箇所なので、はじめに注意させてから弾くようにすると良いです。
- * p14 「谷を下れば」は2つ目の伴奏形のブロックコードバスです。I IV V7を確認し、分散和音は必ずブロックコードで弾いてみます。盛り上がるころのエネルギーを最初は模倣で感じとってから弾かせるとよいそうです。

- * p 18 三和音と転回形の指使いを指番号で言いながら空中で動かし弾いてみると良いです。バステイン先生は play (弾く) → prepare (準備) → look (見る) → play → prepare → look…とポジションにおいて 3 拍子で練習するのが良いとおっしゃっていました。名曲にも転回形で弾けるものがたくさんあるので転回形であることがわかれば譜読みが簡単になります。



- * p 20 「王様の行進」では左手にたくさんの転回形があり、和音の上の音を出すように心がけます。
- * p 22 「三連符」手をたたきながらさん れん ぶと言います。指導者がしーぶんといって ♪♪と合いの手を入れる練習もできると良いです。予備練習は移調させます。
- * p 24 「闘牛士」では指を寄せる・くぐる・かぶせるテクニックがあります。あらかじめ書いておくと良いです。

- * p 28 8度までの音程がリズムカルに言えるようになると良いです。

- * p 32 「星条旗よ永遠なれ」を実際に CD で原曲を聴かせていただきました。マーチで勇ましい感じかと思っておりましたが、実際は穏やかな部分であるのがわかりました。このように原曲をサッと聴かせられるように用意して置くことも大事だと思いました。



- * p 34 半音階の指使いは、黒鍵は③で白鍵が①、白鍵が続くときは①②で弾くという仕組みがわかって弾けると楽に弾けます。さらに、どの音からでも弾けるようにしておきます。
- * p 38 b の調号の主音は最後から 2 番目の音、調号カードで練習しました。
- * p 39 新しい調がでてきたので、音階をテトラコードで確認です。教具：音階への道を使いシールを貼って鍵盤でも確認しました。



たくさんの方が復習できたり新しいことを学べるように考えられた曲がたくさんあり、それをただ弾くのではなく生徒自信が気付き、わかって弾けるようになると良いなあと思いました。どの曲でも、「この楽譜の中で知っていることは？」と聞いてみようと思いました。

【併用曲の紹介】

ポップ・ロックン・ブルース 2	揺り椅子のブルース たそがれのブルース	(三連符)
スペースアドベンチャー	宇宙人	(ブローケンバス)
パレードオブソロ 3	楽しいお休み	(ブギバス)
全調ソロ 1	ジョギング	(ブギバス・D♭)

レポート T.M

Q & A . . . アンケートのご質問にお答えします！

小西 裕美子

〈レベル3について〉

Q テクニックの最後に2オクターブのスケールがあります。B♭、A♭、E♭メジャーの右手の指使いが出だしはハノンと違います。子供向けですね。ハノンの方が例外なのでしょうか？

A バスティンでは2オクターブ以上のスケールが混乱しないために基本的な指使いを学習するのだと思います。きちんと覚えられたら、ハノンのように合理的に変えて良いと思います。

〈不安なこと〉

Q アルファベットを使っているのですが、小さなお子様ははいりやすいかどうか？

曲がアメリカっぽいので、日本の子供の好きな曲をどのような曲集で弾かせたらよいかと思います。

A アルファベットはコードネームや、ポジション、調号に繋がっていきますので、大切なことと思います。

いつまでもCDEと歌わせているわけではなく、D=Cと生徒が理解出来たら、ドレミで十分と思います。

日本の子供の好きな曲集（今までお使いの曲集）どんどん取り入れてよいと思います。

バスティンをメイン教材としてお使いになってレベル4まで終えたら、中級とされている曲集に楽に進むことが出来ている生徒になります。

Q 現在年少で導入を(ト音記号真ん中のどれみふぁそ)で教えてしまった子を途中からバスティンに変えようと思いパーティーAから始めたら鍵盤譜やプレリーディングにとまどって嫌がっています。むしろ『わけがわからない』と感じているようで困っています。どうしたらよいか…迷っています。このままバスティンをやらせたい(私は)けれどどういう工夫をすべきでしょうか？

A 年少さんというだけで大変ですね。何故バスティンに変えたいと思ったのでしょうか？

パーティーAは読譜以外の事で覚える事が沢山あります。ある程度弾ける事が出来て弾く事が楽しいと思っているお子さんにはそれが辛かったのでしょうか？先生が目的をはっきり持って教え込むというより、興味をもたせる方向に持って行ったらいかがでしょうか？

〈その他 感想〉

講師がメソッドの全ての講座をわかっていないと・・・と思いました。子供や音楽を始める初心者の方にわかるように説明で来きて、しかも子供がわかるように話せるようになりたいと思いました。